



大井戸

この井戸は、大井戸と呼ばれ、初代の吉田勘兵衛
(一六一一〜一六八六)が、萬治年間吉田新田
(今の伊勢佐木町吉田町一帯約三十五万坪の入江)
を開いたときに掘ったもので、水質はすぐれ
二百年にわたって付近住民の飲料水となりました。
明治中期、大岡川の水底工事や町に水道が普及
してからは、飲料以外にも使われました。
特に災害(大正大震災など)に際しては、防災の
役割を果たすなど、市民生活に寄与したが
昭和二十年進駐軍によつて埋められてしまいました。
今回復旧し、横浜都市開発史上の一記念物として
のこすものです。

平成二十年九月

吉田興産株式会社

作品番号 : 46601010

作品タイトル : 吉田新田が開かれた時に掘られとされる井戸

作家 :

キャプション :

コレクション : OPO

ソース :

撮影地 : 神奈川県 横浜市 中区

撮影年月日 : 2018/3/17

学術名 :

クレジット表記 : (c)OPO / Artefactory

モデルリリース : なし

プロパティリリース : なし

ピクセル数 : 5048px × 3447px

印刷サイズ : 42.7cm × 29.2cm

データサイズ : 10.4MByte

ファイル形式 : JPEG